

上級一般行政(A)と上級一般行政(B)の違いについて

上級一般行政(A)と(B)で違いがあるのは、第一次試験（筆記試験）の内容のみです。

第一次試験合格後の試験日程（集団面接、個別面接など）はもちろん、入所後の研修、配属方法、待遇等にも違いはありません。

【第一次試験科目（出題分野）】

上級一般行政(A)

・教養試験（120分 択一式 40題）

時事、社会、人文、自然に関する一般知識を問う問題(20題)

文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力を問う問題（20題）

・専門試験（120分 択一式 40題）

憲法、行政法、民法、経済学、財政学、社会政策、政治学、行政学、国際関係

上級一般行政(B)

・教養試験（45分 択一式 70題）

文章読解能力、数的能力、論理的思考能力

※株式会社日本経営協会総合研究所が提供する「SCOA」

法律や経済学などの専門知識は不要なので、「公務員試験対策」をしていない方でも対応が可能です。

【上級一般行政(B)最終合格者の声をご紹介します】

○上級一般行政(B)を選択した理由は？

- ・公務員を目指して3月に会社を辞めたものの、法律関係の勉強を始めたばかりだったから。
- ・文章読解能力、数的能力、論理的思考能力に自信があり、自分に合っていると思ったから。
- ・筆記試験よりも人物を重視しているという姿勢を感じ、好印象を持ったから。

○筆記試験に向けどのような準備をしましたか？

- ・市販の問題集がとても役に立った。

○筆記試験を受けた感想は？

- ・難易度はそれほど高くないように感じた。問題数が多く、効率よく回答することが求められる問題だと思った。
- ・少し時間が足りなかった。

○その他

- ・民間企業を中心に就職活動をしているけど、公務員の仕事にも関心があるという方におすすめです。